

『甘露門』の心―その功の実なるべき―

R1. 8. 19 於、加茂法話会

① 不害の説法 持戒

「いかなる方向に思いをはせてみても、自分より愛しいものを見出すことはない。同様に、他の人々にとっても、それぞれの自分がとても愛しい。だからこそ、自己を愛する人は他人を傷つけてはならない。」

(『相応部經典』三・八)

②

自分がかわいいという心のはたらき―地獄・極樂の話

③ 貪から布施に

「布施といふは不貪なり。不貪といふは、ふさばらざるなり。

むさばらずといふは、よのなかにいふへつらはざるなり」

「其功の実なるべきなり」

(『正法眼蔵』「菩提薩埵四摂法」)

④

『甘露門』

《奉請三宝》

「南無十方佛 南無十方法 南無十方僧 南無本師釈迦牟尼佛

南無大慈大悲觀世音菩薩 南無啓教阿難尊者」

《無量威徳自在光明加持飲食陀羅尼》

「のうまくさらば たたーぎやたばろきてい おんさんばらー さんばらーうん」

(此の飲食を、お経の功徳によって無量無辺の飲食となして、普く汝等の飢を癒し、光明を与えん。その功徳により、相共に福寿の円満を得よう。)